

2000年7月22日 瀬戸市

EXPO
2005 AICHI

今日は、土をかりました。
うつくぬれぬいのてい
先生に、おまけに、おまけに
たのしむた。す
おまけに、山内、す。

今日は上をくだいたり
して、和ん土を作った。
スケッチは、まあまあ
予想通りにいった。
和ん土をこねるとき、
すごくくろうしたけど、
あしたのため、かみは
なまえ宮田 弘里香

来る時が一番遠い
 来た大さしのき
 こねて2羽てきた
 昔目はエをふ、ふいに
 かいけふこまかいのと
 かいちかちのをふけるの
 かいさしかたふにけい
 なまがしうみにけい

。世間をるときに
いろいそあそびた
からかた、水で
くかたくさん
ぬれた。
なまき 田島 介

水を入れた。土はぬる。
のが気持ちよかった。
でも手がその後、バ
サバサになるのはイヤ
がた。何だ「かんた」言
ても、と、そを気持ちのイ
なみ長谷川紗十

こんな↓

女目先生は虫が大に
らい^いみ^みなでバツを
なげてつけたよ
なまえ 杉浦 嘉彦

[illegible]

自分の作りたいものを
ケチした。あと、おんじのこ
つにしたら水をいれ、おんじ
とのおんじにしたら、おんじ
~~おんじとおんじにしたら、おんじ~~
いれおんじにしたら、おんじ
おんじにしたら、おんじ

なまえ伊藤佑也

のころまな
たか？

この意味は、お土生が曰は、
おん土にくた、お土を水で「ん」ん
す、ていた。こねる時、おん土は
きもちよかつた。先生のお言が
すに「かつた、ど」うしたうおん土は
にすぐこねられるかフシがたつた。

おん土見玉 獨子

毎週暑い里山の暮らしコース。この暑さにもみんな
 そろそろ慣れてきたんじゃないかと思う。
 大粒の汗を流しながら、土埃まみれになって、
 一生懸命土を碎いていたみんなが印象的だった。
 みんなが作った粘土がどんな器になるか楽しみ。

里山の暮らし リーダー 西口裕子